

歴史(江戸時代⑦・都市の繁栄と文化)

17世紀末、都市が大きく発展した。①_____は「将軍のおひざもと」といわれる将軍の城下町で、全国の商業や金融の中心地大阪は、「②_____」と呼ばれ、諸藩は大阪に③_____を置き、米や特産物を販売した。そして、④_____は西陣織などの工芸品を生産し、この④_____、大阪、④_____を⑤_____と呼ぶ。都市では、問屋や仲買などの大商人が⑥_____という同業者組織をつくり、幕府の許可を得て営業を独占した。④_____や大阪を中心とする上方では⑦_____文化が栄えた。⑧_____は武士や町人の生活をもとに浮世草子(小説)を書き、近松門左衛門は歌舞伎や⑨_____の脚本を書いた。また、俳諧(俳句)では、⑩_____が『奥の細道』を書き、絵画では⑩_____が大成し、菱川師宣は⑪_____の祖となり、『⑬_____』などをかいた。

